

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成 28 年 11 月 17 日 NO.23 (121)

こども×ゆめ＝みらいの展覧会速報

イチョウの葉が色づきはじめ、秋の深まりを今日この頃となりました。芸術の秋の喜びを謳いあげる展覧会がいよいよ今週末に開催されることになりました。子供たちは、今、最後の仕上げや展示などに一生懸命に励んでいるところです。子供たちの想いがいっぱい詰められた一つ一つの作品を、展示会場である体育館に一堂に集め、展示される姿は、見事な壮観で素晴らしく感動的なものとなることでしょう。さて、今回の展覧会のテーマは「ゆめ×こども＝みらい」であります。子供たちは、無限の可能性を秘め、たくさんのゆめをもっています。その実現に向け小さな創造を積み重ねながら、よりよい未来を築いてほしいという願いを込めました。

子供たち一人一人の、それぞれの「ゆめ」に思いを馳せ、ゆっくりとご鑑賞していただければ幸いです。また、5・6年生は家庭科の作品も出展されていますので、こちらも是非ご覧ください。秋の一日ステキな作品いっぱいの『展覧会』で、子供たちの想いを感じてほしいと願っています。多くの皆様のご参観をお待ちしています。



見守り会の横戸さん・菊田さん表彰される

秋晴れの平成28年11月6日(日)、午前10時30分より「国立市市民表彰式典」が、国立駅前大学通りのくにたち秋の市民まつり会場にて行われました。その式において、国立第七小学校児童の安全のためにご尽力頂いた横戸澄子様と菊田和男様が表彰されました。お二人とも、約10年間もの長き間にわたり、雨の日も風の日も、毎日子供たちの安全を第一に考え、献身的な活動をされました。長年の功績を認められたことは、大変嬉しい思いでいっぱいあります。



お二人の善意から始められた見守りの活動は、その後大きく実を結びはじめ、現在、国立第七小学校の学区には、毎朝35名近くの地域の方々が子供たちの安全を見守ってくれています。また、PTAの皆様も「馬だし」などに頑張ってくれています。様々な課題はありますが、今後も子供の安全を第一に考え、知恵を出し合い工夫しながら取り組んでいただければと願っております。通学路の安全確保は、そのまま町全体の防犯にも大きく貢献しています。これからも、子供たちの安全のために、地域・保護者の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。